

なからぎ

213号

2016年4月

高度情報化時代の図書館の役割とは

附属図書館長 田 中 和 博

総合資料館と文学部、そして図書館の合築棟がだいぶ出来上がってきました。少しずつ足場が撤去され、新しい建物の姿がだんだんと見えてきました。毎朝、北山駅から歩いてくるときの楽しみになっています。本学は昨年、創立120周年という大還暦を迎え、今年度からは、次の60年に向けて新たな歴史を刻むこととなります。新しい建物での新たなスタート、今後、図書館はどのように発展していくのでしょうか。高度情報化時代の図書館の役割について少し考えてみたいと思います。

インターネットが普及し、様々な情報が飛び交っています。しかし、これらのデジタル情報の多くは、体の中を通り抜けていくような感じです。賞味期限の短い情報も数多くあります。そもそも、情報とは、受け手の判断・行動などのよりどころとなる知識や資料ですので、断片的で、消耗品のようなものです。そうした類の情報提供はネット社会に任せておいても良いと思います。しかし、情報だけでなく、学会誌の論文や各種の報告書、資料やデータ等も pdf 等でダウンロードできる時代です。様々な情報がデジタル化され、インターネットを介して提供されています。今後とも情報化はますます進展していくものと思われるので、図書館の役割とは何かについて、改めて考える時期であると思います。

図書館に期待されるものは、断片的ではないものではないかと思えます。学会誌でも、あるテーマについての特集号などは重宝なもので、手元に置いておきたいと思えます。ところで、あるNPO法人は、ネット社会の現在でも、自分達の活動の様子を伝える「新聞」を、もう何年にもわたって作成し続けています。その「新聞」は pdf 版がホームページでも公開されていますが、「新聞」というスタイルに拘り、定期的に発行されています。すなわち、そこには、一面のトップに何を持ってくるのかという編集者の意志が働いており、継続することによって「記録」という価値が付与されています。こうした事例からは、企画したものを発信・提供することの重要性が伺えます。また、それらが積み重なっていくことにより文化へと昇華していくのではないかと考えます。これからの図書館の役割を考える際のヒントを得たような気がします。本学の図書館が、京都北山文化環境ゾーンの中核施設の一つとして、単に情報を提供するだけでなく、文化を育み、伝えていく施設になればと願っております。

(たなか かずひろ：生命環境科学研究科教授)

青少年期の読書

図書館運営委員 田所 祐史

本との出会い — 小学時代まで

本は自分で出会う、探す楽しみがある。薦められた本には手が伸びない。小さいころ、父がシートン動物記『おおかみ王ロボ』を買ってきた。日曜ごとに「全部読んだか？」と聞かれる。本を見る度に気が滅入った。表紙の絵は覚えているが、話の筋を思い出せぬ。結局全部読まなかったのだろう。

自分で本を選ぶ楽しさを知ったのは、幼稚園から小1のころ。友達の母親が、ビールケース大の黄色い箱に本を入れて団地の階段ごとに回る「子ども文庫」活動をしていた。みんなでケースを囲み、選んでは借りた。W・オードリー『機関車トビーのかつやく』（ポプラ社、1974年）などがお気に入りだった。ほかに、あまんきみこ『車のいろは空のいろ』（ポプラ社、68年）、中川李枝子『いやいやえん』（福音館書店、62年）や、『かわ』（同、66年）等のかこさとしの絵本は繰り返し読んだ。

小学時代に伝記が好きになった。7歳の誕生祝に高知の祖父から届いた『エジソン』は、挿絵も鮮明に覚えている。最後に、エジソンの死を「なくなりました」と表現していて、感情移入していた主人公が亡くなった、という「死の結末」に衝撃を受けた。ショック(?)から立ち直ると、『夏目漱石』(77年)を皮切りに、ポプラ社「子どもの伝記全集」や偕成社「児童伝記シリーズ」を随分読んだ。

小学時代は自転車で月に2回、3回と図書館通い。沼南町中央公民館(千葉)の図書室や宇部市立図書館(山口)が思い出深い。後者は古い建物で、玄関の青いタイルや閲覧室の木製の扉、吊るされた照明を思い出す。丘の上にあったので、自転車で坂を上るのがひと

苦労だった。小学校には「校区外へ自転車で行ってはならない」というきまりがあった。図書館は校区外にあって、私は学級会で問題になったり先生に叱られたりした。

しかし、司書のおじさんは「おっ、掟破りが来ちよる、来ちよる」と温かく迎えてくれた。あるとき、日高敏隆『ネズミが地球を征服する?』(筑摩書房、72年)を薦められた。ミッキーマウスがビジネス界を凌駕する内容——ではなく、ねずみの生命力や種の繁栄・絶滅を説明した本だった。親や先生が薦める本には食指が動かないのだが、図書館司書だったら「読んでみようか」となる。きっと専門職ゆえの巧い誘い方^{いざな}だったにちがいない。

『ぼくの教科書は映画だった』に夢中

小6のとき、淀川長治『ぼくの教科書は映画だった』(ポプラ社、80年)と出会う。淀川さんの喋るが如き文章は、映画の情景が浮かぶ名調子。愛情溢れんばかりに語る映画を見たいが、我が家はビデオデッキを長い間購入しなかったので、想像力で読むしかない。映画を見る「機会がなくて……」と頭をかくのではなく、「機械がなくて……」という状況だった。それでも、中学時代には淀川長治『私の映画の部屋』(TBSブリタニカ、76年)、『私のチャップリン』(PHP研究所、77年)と芋づる式に読み漁った。続いて、中野好夫訳『チャップリン自伝 — 若き日々』(新潮文庫、81年)を読んだ。ある日、同書の全編(新潮社、66年)を本屋で発見。学校帰りに本屋に毎日寄って「売れずに残っているか」確認するほど欲しい。親が根負けして買ってくれた。5,500円也。今も私の宝物である。

本屋通いに慣れると、月数百円の小遣いを貯めて、本を選び選び買うようになった。趣味の本以外では、『漱石文明論集』（岩波文庫、86年）が思い出の一冊。「現代日本の開化」や「私の個人主義」などは、漱石がそばで実際に喋っているように感じた。

小・中学校で児童会・生徒会をいやいや担当したので、高校では生徒手帳を調べ、「図書委員は生徒会を兼任できない」という規定があることを知り、誰も立候補しない図書委員に自らなった。だが、その年は中国地方の学校図書館関係の大会の会場校、という落とし穴が。顧問の先生が「大会までに生徒が自主的に委員会を機能させにゃならん。やってみい」と指示、半分休眠中の委員会を再建する羽目に。「みんなが自習以外でも使う図書室に！」と腕まくり。図書館日より『DREAM』発行、組織の編み直し、読書会開催……と取り組み、大会当日、来校者に委員会と図書室の説明をした。ステッキをつけて聴いておられた白いお髭の参加者から、後日毛筆の礼状が届き、励みになったことを思い出す。

委員会活動で知ったのが「社会教育」であった。専門職があることも知った。進学した大学には司書課程がなかったので、中高の教職に加えて学芸員や社会教育主事の任用資格も取得した。それが卒業後の私の公民館での仕事につながったのである。

大学では教育学ではなく歴史学を専攻した。これも読書と関係がある。高校では受験科目に世界史を選んだが、小学時代から和歌森太郎監修の学習漫画・日本の歴史（67～68年）の第16巻『大正時代の日本』が好きで、日本近現代史にも興味があった。「米騒動」という語感が面白く、もっと知りたいと思ったの

である。

隠れて読む本は面白い。試験前の読書は夢中になるもので、見知らぬ世界に没入する楽しさと罪悪感は格別である。勉強そっちのけで鹿野政直編『近代の日本』（小学館、78年）等を読んだ。入試で上京した際は、「緊急用」と親に渡されたお金で、東京タワーに行ったりした上に藤原彰『世界の中の日本』（小学館、89年）を購入。入試前夜に読みふけり、浪人した。後に松尾尊兌『国際国家への出発』（集英社、93年）に出会い、大学では戦後史や大正デモクラシーを学んだ。

本と花は暮らしのなかに

アニメ『耳をすませば』（95年）を見ると、本や図書館の描き方が温かい。私は決して読書家ではないが、青少年期の読書を振り返ると、さまざまな思い出が溶け出てくる。本に導かれ、本とともに寄り道しながら今日まで来たような気がする。

20代前半のころ、職場の公民館職員の合同会議で、玄関ロビーにある図書を引き上げる提案があった。1年間全く発言しなかった非常勤職員の女性が立ち上がって「花と本は、いつでもどこでも手の届くところにあるべきです」と、毅然と言ったことが忘れられない。

我等が京都府立大学には現在、大学の中心に図書館が位置している。とてもいいことだと思う。本に親しみ、泣いたり笑ったりすることが、人間を作っていくことになる。青春の1ページといわず、多くのページに読書の思い出を記して欲しいと願っている。

（たどころ ゆうじ：公共政策学部准教授）

御紹介の『ネズミが地球を征服する？』（ちくま文庫）日高敏隆著 筑摩書房 1992刊（481.7 || H）、『ぼくの教科書は映画だった』（のびのび人生論13）淀川長治著 ポプラ社 1980刊（778.04 || Y）、『私の映画の部屋 正、続、続々、新、新々』淀川長治著 TBS プリタニカ 1976-1978刊（778.2 || Y || 1-5）、『私のチャップリン』淀川長治著 PHP 研究所 1977刊（778.233 || Y）、『チャップリン自伝』中野好夫訳 新潮社 1966刊（778.233 || C）、『世界の中の日本』（大系日本の歴史15）藤原彰著 小学館 1989刊（210.1 || T || 15）、『国際国家への出発』（日本の歴史：集英社版21）松尾尊兌著 集英社 1993刊（210.1 || N || 21）は、2階閲覧室入口に配架していますので御活用ください。

入学 祝 新年度 スタート 上手に 図書館

どこにあるの?



正門からまっすぐ進んで、テニスコートの南側の煉瓦色のタイルの3階建ての建物。
2階の閲覧室では(本の閲覧貸出返却等、資料の調べ方などの相談ほか)、3階(学内者のみ)には学習や研究会に利用できる部屋があります。

2階閲覧室へ入る時は…

- ◆バッグはロッカー室のロッカーに入れてください。
- ◆自分の図書を持って入る(図書館の貸出中の本を含む)時は、カウンター上の番号札を、持込冊数に応じてはさんでください。(図書館の資料の無断持出と区別するため)
- ◆館内(1~3階の全フロア)で飲食はご遠慮ください。資料の汚損や虫の発生を防止するため、ご理解とご協力をお願いします。

資料の探し方は? 借り方は?

資料は、図書館HPの本学蔵書検索(OPAC)にキーワードを入れて検索します。
検索結果の画面で、「所在」と「請求記号」(本の背表紙のラベル)、状況(空白は書架にあり。貸出中は返却予定日あり)を確認してください。府大図書館内の所在は、書架横等に表示しています。
本の貸出は、学生証で行います。借りたい本と一緒にカウンターへ提出してください。
返却は、図書館2階カウンターへお願いします。閉館時は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストに入れてください。
返却期限の過ぎた本がある利用者へは新たな貸出ができないので、ご注意ください。

- 貸出冊数■
- ・1~3回生・研究生等 2週間/6冊
 - ・4回生、大学院生 2週間/6冊+1カ月6冊
- ※夏休み・春休みは貸出期間が延び、冊数も増えます!

カウンター前の新着図書コーナーの一角では、手にとって欲しい本をテーマを決めて紹介しています。



を利用しよう!!!



Webサービスを活用しよう!

図書館HPのマイライブラリは、便利な機能満載!

- ◆貸出中の本への予約。
- ◆貸出中の本のタイトルや返却期限の確認。
- ◆返却期限の延長
(但し、予約がない場合で、返却期限内1回のみ。)
- ◆学内にない図書や論文の取寄せ依頼。
(複写料、送料等の実費が必要)

「図書館Webサービス申請書」(新入生の図書館からのお知らせの封筒にあり)に自分で決めたパスワードを記入し、学生証と一緒にカウンターへ提出してください。

このパスワードは図書館専用です。
利用者IDは、学籍番号です。
在学生の申請も歓迎。申込書はカウンターでお渡します。

資料が見つからない???

カウンターで職員に声をかけてください。

目を変えたら見つかるかもしれません。
ちよつとした検索のコツで見つかるかもしれません。
また、色々な方法で、大部分は入手できますので、ご安心ください。

- ◆協定校である京都府立医科大学、京都工芸繊維大学、京都外国語大学の図書館を利用する。
(貸出可。別途各図書館の利用者登録が必要)
- ◆協定校以外の大学図書館を利用する。
(事前に本学図書館を通じて照会が必要)
- ◆本や論文を他館から取寄せる(費用は実費)
- ◆公共図書館を利用する。
- ◆学生希望図書としてリクエストする。

3階の部屋を利用しよう!

図書館で学習できる場所は、3階にもあります。

- ◆自習室 手続き不要。バッグも持込OK。

下記の部屋はカウンターで申込が必要です。

※利用当日の申込OK。

貸出用のプロジェクターあり。

- ◆共同研究室(2室)…… 15人程度の研究会・学習会
- ◆個室(4室)……1人で集中して学習。

利用ガイダンスも行いますのでぜひ参加してください!
(本誌最終ページやHP等参照)。

快適な学生生活が送れるよう、うまく図書館をつかってください。

電子ジャーナルやデータベースを利用してみよう!

契約タイトル等は、図書館HPの【電子ジャーナル】「データベース」「電子ブック」のページをご覧ください。OPACからタイトルを検索することもできます(一部検索できないものもあり)。

昨年度からSFX(リンクリゾルバ)という、様々なデータベースを相互にリンクさせ、文献入手がスムーズにできるように支援するシステムの利用を開始しました。OPACの検索結果から論文公開情報へ、論文データベースから、全文情報はもちろん図書館の所蔵情報へ簡単にアクセスできます。下記アイコンが表示されていたら、クリックしてみてください。



■ SFXへのリンク(府大)



The screenshot shows the library's search interface. At the top, it says 'Kyoto Prefectural University 京都府立大学' and 'S.F.X 画面'. Below is a search bar with '全文を探す Find Full Text'. The main content area shows search results for '論文タイトル: 野分に生息するイエネコ(Felis catus)の採餌行動や空間利用に対する去勢 避妊の影響' and lists various electronic journals like JAIRO, Google Scholar, OAlster(WorldCat), and NCBI PubMed. At the bottom, there are sections for '学外へ依頼する' and 'ILL:文献の取り寄せ'.

電子ブックを 使ってみませんか？

日本語の図書(『国史大系』『東洋文庫』の一部ほか)や雑誌(『発達』『自然保護』『こころの科学』の一部)75タイトルを、図書館HPからオンラインで読むことができます。

洋書は数千タイトルを読むことができます。

著作権の範囲でプリントアウトすることもできます。

ぜひ活用してください。

なお、同時アクセス1のタイトルも多くありますので、利用後は必ずログアウトしてください。

詳細な使い方は、各電子ブックのヘルプ等を参照してください。

京都府立大学附属図書館
Kyoto Prefectural University Library

電子ブックの項からアクセスできます。

ペンダー(サービス提供元)別に、アクセスできます。

お知らせ

- 16/3/4 3/22(火)~31(木)の期間、整理のため、2階閲覧室を休室します。
- 16/2/25 3月に卒業(終了)の方の貸出返書の返却期限は2/29月です。
- 16/1/28 図書情報なからぎ212号を発行しました。
- 16/1/22 Webstar(法律総合オンラインサービスの)のトライアルが終了しました。

本や雑誌と同じように検索し、アクセスできます。

京都府立大学附属図書館サービス
Fudai Nakara Search

府大簡易検索 中国学芸大辞典 検索

電子ジャーナル・電子ブックリスト

データベース

「電子ブック」の項があります。

電子ブックを探す データベース

データベース

電子ブック

和書

洋書

電子ジャーナル・電子ブックリスト

電子ブックを探す

ここから、タイトル等で検索できます。

電子ブックを探す データベース

ペンダー(サービス提供元)から調べられます。

有料契約分はもちろん、無料でアクセスできる電子ブックも含まれます。

3館合同蔵書検索システム

検索結果一覧(全館所蔵)

もちろん、OPACの検索結果からもアクセスできます！

こちらは図書

電子ブック
このアイコンをクリック

◆電子ブックの画面

Manzen eBook Library eBooks Springer は、学外からも利用できます。

学術認証フェデレーション

を利用してください。詳細は『なからぎ202号』(図書館HPから全文可)または大学HPの学内専用サイトを参照してください。

知の拠点、附属図書館を使う！

文学研究科史学専攻博士後期課程 島本多敬

新年度が始まりました。新入学のみなさんは（すでに在籍のみなさんも）、これから授業や諸活動・研究のために、新しい課題について調べ、学び、他人にそれを伝えることとなります。このときに必要となるのが、本であり、それにアクセスするための図書館です。

ところで、私だけなのかどうかわかりませんが、書架に本の背表紙がずらっと並んでいるのを眺めていると、時間を経つのも忘れてしまいます。「『〇〇〇の研究』って、なんて大雑把なタイトルなんだ！」と驚嘆したり、マニアックそうな『×××事典』や『△△時代における□□□の研究』といった本を見るたびに「一体、誰が読むんだらう？」と思わず手に取ってしまいます（私のような天の邪鬼に読んでもらうため?）。特に書庫（各階のほか、東書庫 I など）は古い本や学術雑誌が多く、マニアック度は高めかもしれません。

また、本を手にとると、つい「あとがき」を読んでしまいます。そこには大概、著者の執筆に至る背景や研究の苦労話（なかには、目を疑うようなエピソードも）などが書いてあり、書架を横に数 cm 動くだけで、何人もの生きざまを知ることができます。こちらは、結構共感してくれる人も多いかと思えます。

ともかく、図書館はそんなフラフラしていても知的好奇心を満たしてくれるような場所だと思います。府大生はこの附属図書館を拠点にして、勉学に励むわけです。

すっかり紙幅を費やしてしまいましたが、ここで「知の拠点」附属図書館の使い方について、知っておくと便利

なことに絞ってご紹介します。詳しく知りたい人は、利用案内などをご覧になるか、図書館職員の方に尋ねてみてください。

私のようにフラフラすることなく、特定のテーマに絞って本を探したい人は、図書館 Web サイトの蔵書検索 (OPAC) を使って調べてみましょう。「3 館合同検索システム」と「本学蔵書検索」があり、前者だと京都府立総合資料館・京都府立医科大学附属図書館の蔵書も一緒に調べられます。府大附属図書館の本だけを調べたい場合、後者から検索するとスムーズです。

図書館にない本があれば、リクエストして購入してもらえる制度があります。これによって図書館の蔵書も充実していきます。また、雑誌に収録されている論文が欲しい場合、論文タイトルなど必要な情報を添えて申し込めば、有料で他の大学図書館などからコピーを取り寄せることもできます。

どうしても他大学図書館の蔵書を見に行きたいときは、カウンターを通じてその館への閲覧申請し、日時を設定してからそこへ赴くことができます。発行部数が少ない科学研究費の成果報告書や、古い時代に著述・出版された貴重書などが見たいときに必要になってきます（私の場合、研究の一環で他の大学図書館が所蔵する江戸時代の古地図を見に行く機会があり、これをよく利用しています）。

以上はほんの一例ですが、附属図書館を使いこなせれば、館内に限らず、幅広く様々な本にアクセスすることができます。まだ見ぬ「知」へ繰り出す拠点として、附属図書館を使ってみてください。

図書館オリエンテーションのお知らせ

府大図書館の利用方法をお話します！
 下記日時に**図書館 2階カウンター前**に集合してください。
 *11日以降の日程は図書館HPや掲示板ポスターでご確認ください。

- **府大資料の検索方法を紹介**
 図書館を利用するために不可欠なOPACを使って図書を検索、
 書架から取り出すまでを実際にやっていただきます。
- **図書館HPの説明**
 HPには大学での学習・研究に必要な情報が満載です。
- **館内ツアー**
 書庫にも案内します。
 書庫の場所、資料群を知っていると役立つ場面が多々あります。

- 4月1日(金) …10:00 11:00 13:00 14:00 15:00
- 4月4日(月) …14:00 15:00 16:00
- 4月5日(火) …10:00 14:00 15:00 16:00
- 4月6日(水) …14:00 15:00 16:00
- 4月7日(木) … 9:30 14:30 16:00
- 4月8日(金) … 9:30 14:30 16:00

各回30分程度

カレンダー

開館時間

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝
----------------	----------------	-----------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2016年4月							2016年5月							2016年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		

★~4/6(水) 授業がないので17:00閉館
 ★4/7(木) 春休み長期貸出返却日

